

NPO・市民活動団体紹介のページ

登校拒否と教育を考える函館アカシヤ会

■どんな団体?

お子さんやお孫さん、親戚のお子さんが不登校になつたり、不登校気味で悩むご家族の集まりで、1993年にはスタートしました。学校に行くというみんなと同じ枠からはみだしたら、人としての価値がなくなるように思ひこながちなる多くの大人たち、思いこなされがちな子どもたちに、そうではないことを伝え続けてきました。また、不登校が生まれる背景には、現在の学校システムが抱える様々な矛盾もありますので、不登校のご家族に限らず、教師をはじめ保健福祉分野の支援者など、教育の課題やあり方について関心を持つ方々も参加しています。

■団体のPR

活動の基本は、毎月第3日曜日の13時30分から16時まで開催している月例会で、会場は概ね函館市総合福祉センター「あいよる」です。例会は、参加者が対等な立場で参加し、お互の悩みや体験を語り合います。参加者は同じような悩みや体験を持つ方々なので安心して話し合ひができます。自分自身も語ることで悩みが整理され、

みんな違つていて
みんないい
人生いろいろ、進路も
いろいろ
!^(^!)!

気持ちも楽になつてきます。予約もとの

関わり方や進路の問題など、たくさんの具体的な体験や情報を知ることもできます。

会員は、不登校のお子さんのご家族に限り、このようなテーマに関心をお持ちの方や、遠方からも会報等の資料がほしいと

いつことで会員登録されている方もおります。例会には平均して20名くらいが参加しますので、ゆっくり語り合つたために小グループに分かれて話しあつこともあります。また、不登校について広く市民の皆さんに知つていただくために、年1～2回、講演会やフォーラム等も開催しています。

■これから活動

10月16日(日)の例会は、「函館圏フリースクール すまじる」との共催で『不登校・ひきこもりと「発達障がい」を考えるつどい』として開催します。

最近、いわゆる「発達障がい」が関係しているのではないかと思われる事例が増えています。これは「発達障がいが不登校やひきこもりの原因」と云ふことではなく、発達障がいについて周囲がきちんと理解していないために不適切な関わりをして、「不登校やひきこもりに追い込まれる」場合が多いように思われます。そこで、「発達障害者支援センターあおいそら」相談員で小児科医の高橋実花さんに「困難を抱える子ども・若者に寄り添うための家族・教師・支援者などにお願いしたいこと」という講演いただきます。また、「函館圏フリースクール すまじる」代表の庄司謙さんが活動報告を行います。

■会員募集など

年会費1,000円で、隔月で会報をお送りし、例会参加は無料になります(単発参加の場合は資料代200円)。例会参加は予約不要です。お問い合わせや入会は希望の方は代表・野村までご連絡ください。また、不登校に関する相談も受けています。

登校拒否と教育を考える函館アカシヤ会

- | | | |
|--|------------------|----------------------------|
| ■代表者名／野村 俊幸 | ■事務局／野村 俊幸 | ■会員数／約130名 |
| ■電話／090-6261-6984 | FAX／0138-57-3041 | ■メール thomura@sea.ncv.ne.jp |
| ■ブログ http://akashiyakai.phpapps.jp/ | | |

NPO・市民活動団体紹介のページ

認定NPO法人 日本セラピューティック・ケア協会

■どんな団体?

セラピューティック・ケアは、直訳すると「治療力のある介護」の意。1996年に日本赤十字社で確立され、1999年に日本で初めてその技術を学んだ秋吉美千代が日本での普及を託されました。両手のぬくもりだけで心と身体に安らぎをもたらすメンタルケアを目的としたスキルで、ストレスにさらされている人や、精神的につらい状況にある人に熟練した技を無私で提供します。静かに寄り添い、手のぬくもりで、老いや死の不安、寂しさを癒してさしあげる。セラピューティック・ケアの大切な役割です。



6月に開催した函館での入門講座の様子

■団体のPR

協会本部は福岡にあり、全国に14の支部を持ち25県でボランティア活動を行っています。全国80カ所のデイサービス・有料老人ホーム等の老人福祉施設、病院（緩和ケア病棟）・ホスピス等で年間のべ1万4千人以上の方にケアをお届けしています。継続的にお届けすることで、認知症の周

辺症状が改善される・脚の浮腫が改善されるなど、現場で効果を上げている事例も沢山報告されています。このケアの大きな特徴は、オイルなどの薬剤や道具などを使用せず、着衣の上から両手のぬくもりだけで行えるシンプル且つパワフルなケア法である事。「オキシトシン（*注）」の分泌を促すことにより、施術をされる人のみならず、する人にも安らぎをもたらし、両者の間に強い信頼感を感じさせます。また、セラピューティック・ケア協会は、このような施術事業の他、小学校～大学に福祉体験授業により命の尊さや世代を超えたコミュニケーション方法を伝える事、子育て支援事業による児童虐待のない社会づくりや人材育成等にも力を入れています。（*注）ストレスを軽減させ、相互の絆を深める作用があるとされるホルモン



ボランティア活動に入っている老健の文化祭参加時の写真

■会員募集

一般の方を対象にセラピューティック・ケアで心のケアを行うボランティアの養成を行っています。

行っています。又、医療・介護・福祉の現場で活用できるので、専門職の方々の養成も行っています。セラピスト養成講座や通信講座などによりセラピストの資格を取得し、それぞれの場で活用されています。入会はセラピューティック・ケアに興味のある方ならどなたでもご入会いただけます。入会金／5,000円、年会費／3,000円また、当協会の活動趣旨に賛同し、支援して頂ける個人・団体・企業のご寄付も募集中しております。

個人／1口 3,000円～ 法人／1口 10,000円～で、何口でもご支援いただけます。（当協会へのご寄付は税控除の対象となります）

■これから活動

道南ではあまり馴染のないセラピューティック・ケアですが、これから時代に求められているスキルだと考えています。入門講座の開催やボランティア活動を通してセラピューティック・ケアを広めて行きたいと思います。



7月30日～31日に行われた「2016年度リレーフォーライフ苫小牧」参加時の写真



老健でのボランティア活動の様子

認定NPO法人 日本セラピューティック・ケア協会

- 代表者名／理事長 秋吉 美千代 ■事務局／認定NPO法人 日本セラピューティック・ケア協会
- 会員数／約655名 通信会員のべ1,050名 ■電話／092-928-1546 ■FAX／092-555-9401
- メール info@therapy-care.net ■ホームページ http://therapy-care.net
- 北海道支部：支部長 武藤 佐代子 電話：011-572-9416 (FAX兼) メール：sayo_m_0814@ybb.ne.jp